

食品苦情と回答

Q： ブリに混入したミミズ様の虫について

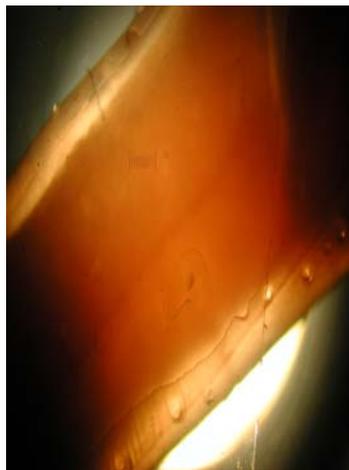
A： その特徴などからブリやハマチに寄生するブリ糸状虫です。虫体は、ブリの身に寄生しており、魚の血を吸って橙赤色を呈しています。大きさは、約 30cm ぐらいで体表にはイボ状の突起物がみられ、虫体の中には仔虫（シムシ：ふ化してまもない幼虫）がたくさん見られます。

ブリ糸状虫は、人体には寄生せず、健康被害を引き起こすことはありませんが、不快感を与えると同時に、ブリの身には寄生によって生じた腔内に黄白色の粘液が溜まっていることもあり、商品価値の低下を招きます。

なお、通常は虫体が長いため、加工又は調理される段階で発見され、排除されています。



虫体 (30cm)



虫体側面のイボ状小突起 (×40)



仔虫 (×100)

Q： りんごの皮をむくと皮の下 3～4 mm の部分が褐色に変色

A： 果物は、環境温度に影響され、貯蔵温度によっては、果肉が褐色に変化したり、柔らかくなったりするなど、いわゆる低温障害を起こすものがあるとされています。

りんごにも、貯蔵温度が 2～3℃になると、内部の褐変を起こす品種があり、今回の場合も貯蔵中の温度管理に問題があつて発生したのではないかと思われます。

果物を冷蔵庫で保存する場合には冷やしすぎに注意しましょう。